

両 両 中 だ よ り

6月号 令和元年6月3日発行

「飛翔～燃えろ！両中魂～」第73回体育大会終わる！

とても和やかな雰囲気です。笑顔が素敵な体育大会になりました。勝負だから勝負はありますが、それにこだわりつつも、それ以上にがんばった人に拍手を送ることができた体育大会であったことがとてもよかったです。また、呉市オリジナルソングのかずきお兄さんを迎え、全員で「君くれハート」を笑顔で踊ることができたこともとてもよかったです。ただ、天候悪化のため、生徒の安全を第一に考え、部活動アピールと部活動対抗リレーを中止したことは残念でした。一生懸命、競技・演技した生徒への、温かいご声援ありがとうございました。



優勝	1-1	2-1	3-1
最優秀行進賞			3-1
縦割優勝			1組

プロセスを大切にする

今回の体育大会で素敵なことがもう一つあります。それは、生徒がプロセスを大切にしていたということです。担任が、デイリーライフ（日記）を見ながら、とてもうれしそうな笑顔で話をしていたのが印象的です。クラスであでもない、こうでもない、話し合ったり、作戦を立てたが失敗して何度も作戦を変更したりと、クラスが団結していく様子がよくわかりました。ほんの一部ですが紹介します。

「今日は『君くれハート』を踊りました。みんなで楽しく踊ることができて本番がとても楽しみです。」

「体育大会の準備をしました。テントを作るとき、とても暑かったけど、スムーズにつくることができたので良かったです。学年種目もリレーも悔いの残らないようにみんなで楽しく追われるようにしたいです。」

「今日の予行は、ミスがあったので、本番までには直したいです。そして、今日は負けてしまって悔しいです。私は去年も負けてしまっているので、今年こそは！学年種目も、みんなと団結して頑張りたいです。」



「今日は、体育大会の練習の最後です。今までの努力を無駄にしないように頑張りたいです。明日の体育大会、先生『期待してくださいね！』先生もチームの一員として応援してくださいね。」

「今日の体育大会は、リレーで一人抜かすことができたので、うれしかったです。負けただけ、楽しい体育大会でした。」

「今日の体育大会では、最初の個人種目は順調だったけど、スウエーデンと学級対抗リレーで逆転されて、やっぱりな、と力の差を見せつけられました。でも大縄と学年種目という希望が残っていたけど、大縄では大差で負け、学年では1章できたものの、他は負けという結果だった。けど、みんなで協力してできたのでよかったです。」

「最後の体育大会は負けてしまったけど、スローガン『飛翔～燃えろ！両中魂～』のような競技ができたと思います。本当に楽しい時間でした。『魂』のこもった体育大会でした。お疲れ様！」

～保護者の方・来賓の方より～

「団体種目がとても楽しそうで、どのクラスもいいクラスなんだと思いました。楽しかったです。ありがとうございました。」

「学年が上がるにつれ競技、演技力、迫力がありました。日頃の頑張りが良く伝わりました。」

「今日は体育大会予行でした。お昼も挟んでなのでとても大変でしたが、これから本番です。勝ち負けを気にせず、どれだけこのチームで協力できるかを競いたいです。」

「体育大会の予行がありました。進行係はいつもより丁寧にやることを頑張りました。リレーは全部走って走り終わったら筋肉痛がヤバかったです・・・笑。本番は楽しんで体育大会をやり通したいです。」

「今日は学年種目のリレーの方を1組に勝て、とてもうれしいです！男子が速くなっていて驚きました・・・。女子も負けられぬ。でも、1組女子とは接戦だったので、上達していると思います！」

「今日は、最後の練習。アナウンスも進行も頑張りました。もう、すでに緊張してきます・・・。不安なことは、たくさんありますが、思い切り力を出して楽しみたいです！一笑懸命頑張ります！！」



「きびきび行動していて、気持ちよかったです。きちんとしているからこそ終始楽しそうで、見ている方も楽しくなりました。とてもいい1日でした。お疲れ様でした」
 「各競技、皆真剣に取り組んでいて、見ている気持ちよかったです。中でも「みんなでジャンプ」の2年1組の縄を回していた2人にはもう一度拍手を送りたいです。来年の体育大会も皆の活躍に期待しています。」
 「生徒さん方のはつらつとした姿に元気を頂きました。ありがとうございました！！」
 「各学年ごと、まとまりのある競技・演技でした。すばらしい運動会だったと思います。」

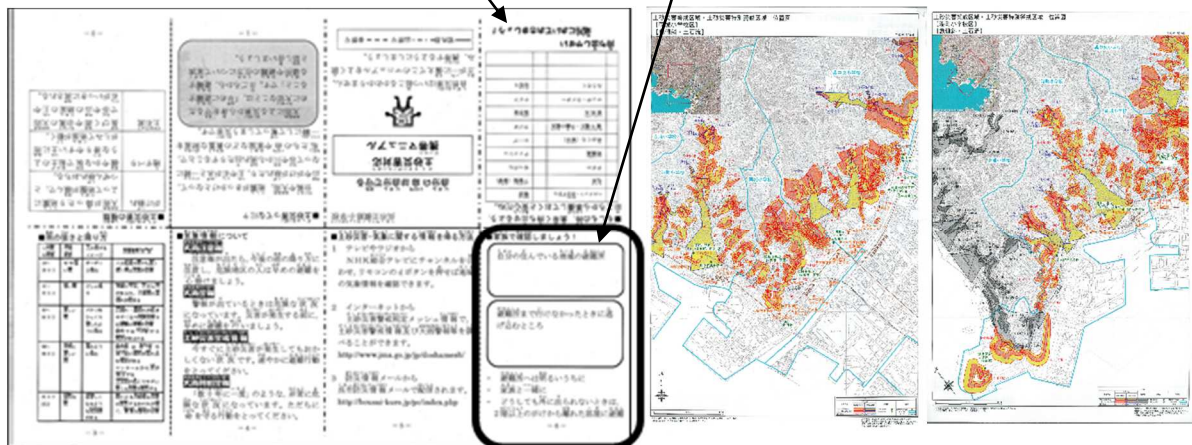


土砂災害対応携帯マニュアルを配付しました。 家族と防災について話し合う時間をもってください。

昨年は、7月の豪雨災害など、甚大な自然災害が多数発生しました。それに伴い、防災教育の充実が一層求められています。呉市では土砂災害に重点を置き、各学校や校区に応じた「土砂災害対応携帯マニュアル」を作成することになりました。これは、常に携帯しておくことによって、万が一の災害が発生した場合に適切な行動ができることを目的としたものです。

また、本校でもこのマニュアルを活用し、危機予測や危険回避の学習の充実を図っていきます。6月3日（月）には、「土砂災害対応携帯マニュアル」を全校生徒に配付し、どの道を通って避難すればよいか避難経路を確認したり、いざというときに何を持ち出せばよいのか考えました。また、万が一の場合どうやって家族と連絡するのか、どうやって正しい情報を得るのかを考えました。持ち帰った「土砂災害対応携帯マニュアル」を参考にして家族で防災について話し合い、いざというときにどのように行動するのか確認し、6月10日（月）までに担任に提出してください。

なお、「土砂災害対応携帯マニュアル」は、完成後、常に通学バックに入れて携帯します。ご確認をよろしくお願いいたします。



梅雨の時期が近づいてきました。まだ両中安心ネットに登録されていない保護者の方は登録してください。よろしくお願いいたします。

毎月第3火曜日は、「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談日」です。担当は、教頭、脇田、向山、堀、知名です。

気象警報及び津波警報発表時の対応について

台風、大雨等にかかわる気象警報発表時及び津波警報発表時につきましては次のおり対応してまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. **午前6時30分の時点で、呉市に1つ以上警報（ただし、「大雨」、「洪水」、[暴風]、「大津波」、「津波」）が出ている場合は、自宅待機とする。**
2. **警報が午前11時00分までに解除された場合は、速やかに登校する。**
3. **警報が午前11:00までに解除されない場合は、臨時休業とする。**

1 **午前6時30分（登校の判断時刻）以降から8時20分（始業）までに、警報が発表された場合**

登校した生徒は原則として「学校待機」（状況を見ながら下校させることもあります。）、自宅にいる生徒は「自宅待機」とします。

2 **登校後に、警報が発表され、下校時刻の時点でも警報が解除されない場合**

気象状況等を見ながら教職員の見守り体制の下で下校させます。安全が確保できないと判断した場合は、学校待機や保護者の迎えをお願いすることがあります。



【留意事項】

- 1 登校の判断基準となる「気象警報発表区域」は「呉市」です。「広島県」、「南部」及び「広島・呉」ではありません。ただし、津波関係の警報発表区域は「広島県」となります。
- 2 これらの対応時には、原則として学校からの電話連絡はしませんが、「学校メール配信システム」（両城中安心ネット）から「自宅待機」「臨時休業」「警報解除時の登校指示」「学校待機」「保護者の迎え」等の連絡は配信します。
- 3 警報が午前11時00分までに解除された場合、生徒は通常どおり弁当持参（デリバリー給食あり）で登校してください。

※マニュアルでは「登校」に該当する場合も、自宅周辺及び通学路が危険だと判断される場合は、学校にご連絡ください。

◎学校関係者評価委員会のメンバー



学校運営の改善を図るために学校の教育活動等について意見や評価を行う組織として、年間3回開かれる学校関係者評価委員会があります。今年度のメンバー（敬称略）は次の方々です。よろしくお願いいたします。

川本昌亮（学校評議員）
 平原正敏（学校評議員）
 川畑勝之（学校評議員）
 榎久仁裕（学校評議員）
 川原孝徳（PTA会長）